

池波正太郎の食卓

小説の中に、池波正太郎ほど食べもののシーンを巧みに取り入れた作家はいません。なぜ「食べ物のことを書くのか」と聞かれると、「背景の季節感を表すため」と答えました。食べ物を通して登場人物の内面の心理までも映し出したところが、池波正太郎のすごいところです。豪華なご馳走ではなく、ごくありふれた野菜や江戸前の魚介の描写は、読者の味覚を刺激します。

朝日新聞の名編集者として、池波正太郎と接してきた重金敦之氏が、食べ物を通して池波ワールドの魅力・エピソードを語ります。

講師 重金 敦之（文芸ジャーナリスト）

1939年東京生まれ。慶應大学卒業後、朝日新聞社入社。「週刊朝日」編集部在籍時に池波正太郎を担当。『食卓の情景』や『真田太平記』（いずれも新潮文庫）などの連載から刊行までをサポートする。私立大学教授を経て、現在は文芸ジャーナリスト。食の分野にも造詣が深く、料理に携わる人たちからの信頼も厚い。著書に『池波正太郎劇場』（新潮新書）、『小説仕事人・池波正太郎』（朝日新聞出版）など多数。日本文藝家協会、日本ペンクラブ各会員。



開催概要

- 日時：2018年7月4日（水）19:00～20:30（18:30開場）
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：200名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：1,000円（千代田区民500円 ※住所が確認できるものをお持ちください。）
- 申込方法：ホームページお申込フォーム、電話（03-3502-3340）、来館（1階受付）いずれかにて、
①講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。

〈 お問い合わせ先 〉

日比谷図書文化館 広報担当：中澤 nakazawa-hiroyuki@shopro.co.jp / 並木 namiki-yuri@shopro.co.jp

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-4 TEL：03-3502-3342 / FAX：03-3502-3341

日比谷図書文化館ホームページ：<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>